

インターンシップ講習生から感想をいただきました

研究推進部研究推進室

今季最後のインターンシップ講習は、2週間で3つの研究ユニットが順番に受け入れるという形となりました(地域資源工学研究領域資源評価ユニット→水利工学研究領域水域環境ユニット→同領域水利システムユニット)。講習生は大変だったと思いますが、どんな気づきを得たのでしょうか。以下、感想を紹介します。

【地域資源工学研究領域資源評価ユニット】

私は、資源評価ユニットでの3日間の実習で、島根県某市の2つの活動団体の活動が地域経済にもたらす波及効果について、実際にwebツールを用いて分析と評価、分析結果の発表を体験させて頂きました。初めてのことで、不安もありましたが、用語や考え方、データの見方などを丁寧に説明して頂けたので、楽しんで実習に取り組むことができました。発表の準備中や発表後にも、アドバイスして頂いたり、研究員さんの発表を見ることができたり、休憩時間にも色々なお話を聞くことができたので、とても有意義な3日間になりました。専攻以外の分野に関わる機会は大学では少なかったので、実習を通して、いつもとは違ったものの見方を学ぶことができ、貴重な経験になりました。

【水利工学研究領域水域環境ユニット】

水域環境ユニットでは、農村生態系についての魚類実験と特定外来生物ナガエツルノゲイトウの繁茂状況調査を体験させて頂きました。実験室での実験と野外調査の両方を体験することができ、非常に充実した二日間でした。生き物を用いた実験を準備から実験・観察・記録まで自分で行ったり、実際にフィールドに出て調査したりするという体験は、大学ではあまりやる機会がなかったので、とても興味深く貴重な体験になりました。さらに、研究活動を進めていく上で大切な考え方や、身につけておくべき知識についてもアドバイスして頂けたので、とても勉強になりました。この実習で学んだことを将来の研究や進路選択に活かしていきたいと思います。



【水工学研究領域水利システムユニット】

水利システムユニットでは、用水機場の現地調査、ポンプ特性についての実験、データ整理をさせて頂きました。ポンプの仕組みや水管理システムについて、ポンプ配水の基本となる水理模型実験から実際の導入例まで、実物を見たり実際に体験したりしながら学ぶことができ、有意義な3日間になりました。身近なようでありなじみのなかった内容でしたが、現在利用されている水管理システムについて、実際にポンプ場へ行って見たり、地図や管理システムのアプリを見たり、実験をしたりしながら説明して頂けて、また細かい質問に対しても丁寧に答えて頂けたので、イメージしやすかったです。データ整理のときの見方、考察の仕方などについてもアドバイスして頂けたので、大変勉強になりました。



【3ユニットでの実習を通して】

8日間で、異なる3つのユニットの実習に参加させて頂くという形式になり、短期間で様々な研究内容を体験することに、不安もありましたが、どのユニットの方も丁寧に説明してくださり、優しく対応して頂けたので、安心して一つ一つの課題に取り組むことができました。農村工学分野と一括りに言っても、研究内容は様々で、自分の知らなかった内容も多くあり、苦労した部分もありましたが、どれも興味深い内容で、充実した2週間になりました。また、今回の実習を通して、自分の足りていない知識や学び直す必要のある分野など、自分にとっての課題を知ることができたので、これからの大学生活や研究活動に繋げていきたいと考えています。

【受け入れユニットより】

(資源評価ユニット)

分野の違うテーマでしたが、データ入力、分析、結果の発表と一通りの経験を積んでももらいました。ユニットとしても、分析しあぐねていた案件に全員で取り組む良いキッカケとなり、来ていただいたことに感謝しています。

(水域環境ユニットより)

短い時間ながら施設内での魚類遊泳実験・現地フィールドでのナガエツルノゲイトウ調査に楽しみつつ積極的に取り組んでももらいました。常に考え工夫しながら一つ一つ進めていく地道な研究生活の一端を感じてもらえたものと思います。今後のご活躍を楽しみにしています。

(水利システムユニット)

大学での講義では馴染みがないですが関東地方等の平野部の灌漑では不可欠のポンプについて、水理実験、現場調査、実施設のデータ分析を行っていただきました。研究と現場との関係や環境問題への繋がりを実感していただけたでしょうか。いつか更に成長された姿を見せてください。楽しみにしています。